

指導と評価の年間計画（案）

教科（科目）	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
社会福祉実習	2単位	第2学年		学習ノート 出版

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉に関する基礎的な知識習得させる。 ・現代社会における社会福祉の意義や役割を理解させる。 ・社会福祉の向上を図る能力と態度を育てる。
到達目標に向けての具体的な取組	<p>基本的な介護技術を理解し、利用者の状態に合わせて活用できるようにする。</p> <p>介護は自立支援を行うものであることを理解し、利用者の生命を守り、安全で安楽に責任ある援助行為が行えるようにする。</p> <p>利用者の人格・意志を尊重し、単なる技術援助ではなく、利用者の自己実現が達成されるよう、知識と技術の総合表現としての介護活動を求める態度を養う。</p> <p>介護の実施にあたって、利用者の気持ちを理解しようとする意識を養う。</p> <p>社会福祉に関する学習の基本的な心構えを育てる。</p>

月	進度（単元・章・項）	指導内容（項目活動）	評価方法	評価のポイント
4	1, 日常生活の理解 (1)日常生活とは (2)人間と欲求	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが生活の主人公であることを理解させる。 ・生活と欲求の関わりを段階的・分野別に理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察(取組状況) ・学習ノート 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的知識が身に付いている ・効果的学習方法が身に付いている
5	2, 基本的介護技術 (1)介護技術の意味 (2)介護者に望まれる態度 (3)コミュニケーションの意義と実際	<ul style="list-style-type: none"> ・生活援助であり、身体介護のみではないことを理解させる。 ・介護を行う際、もし自分が介護されるならどのような人にしてほしいか問いかけて理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察(取組状況) ・学習ノート ・意見交換 ・1学期中間考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しく内容を理解できる ・意見交換に積極的に取り組んでいる ・感想・意見を発表できる
6	3, 環境の整え方 (1)心地よい環境とは (2)ベッドメイキング (3)シーツ交換（臥床時）	<ul style="list-style-type: none"> ・介護者と利用者・家族への関わりと方法に意識を向けさせる。 ・良い環境の基本的事項と、環境を整える要件を理解させる。 ・生活の主たる場であるベッドを作る技術を理解させる。 ・人が寝たままでのシーツ交換の技術と相手への働きかけを理解させる。 仰臥位 側臥位を使用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察(取組状況) ・学習ノート ・実技テスト ・実技レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しく内容を理解できる ・正確な技術を身に付け、積極的かつスムーズに取り組んでいる ・正しく内容をまとめる
7	4, 運動・移動の援助 (1)運動・体位・ボディメカニクスの意義 (2)ベッド上での移動 (3)体位変換 (4)安楽な体位 (5)車椅子への移乗 (6)車椅子での移動 (7)歩行援助 (8)廃用症候群・褥瘡・拘縮とは (9)移動・体位変換・移乗の流れを確認	<ul style="list-style-type: none"> ・体の動きと体位の名称、ボディメカニクスの基本を理解させる。（利用者も介護者も安全で安楽に） ・上下移動・左右の水平移動を理解させる。 ・仰臥位 側臥位 起座位 端座位を理解させる。 ・ボディメカニクスの意味を振り返り、良肢位との関係を理解させる。 ・体位変換の技術を利用し、立位・方向変換の理解をさせる。 ・車椅子の扱い方において安全に最も注意することを意識させる。 ・杖歩行・視覚障害者のガイドヘルプでの安全の守り方に注意。 ・運動・移動の意義を再確認させる。本来の障害から二次的障害を起こさせないように意識させる。 ・この項目で行った実技を一連の流れとして、コミュニケーションを意識させながら再確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察(取組状況) ・学習ノート ・実技テスト ・実技レポート ・1学期期末考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的知識が身に付いている ・各実技の意義・留意点が理解できる ・実技に積極的に取り組んでいる ・正確な技術を身に付け、安全を意識しながら取り組んでいる ・実技の一連の流れを理解し、スムーズに実習ができる ・正しく内容をまとめる
9	5, 衣服着脱の援助 (1)衣服の意義 (2)和式寝間着の交換片麻痺 (3)パジャマの交換片麻痺 (4)日常着の交換	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で衣服の持つ意味や衣服の取り扱いを理解させる。 ・和式寝間着の取り扱いと利用者への援助方法を条件の違いに意識を向けさせて理解させる。 ・和式寝間着と同じく、利用者の状態・状況の違いと援助法を理解させる。 ・寝間着だけでなく、外出時の衣服の交換を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察(取組状況) ・学習ノート ・実技テスト ・実技レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しく内容を理解できる ・援助法の正確な技術を身に付け、利用者の状況に応じた取り扱いができる ・スムーズに実習ができる ・正しく内容をまとめる
10	6, 清潔の援助 (1)手浴・足浴・陰部浴（部分浴） (2)洗髪 (3)清拭 (4)入浴 (5)洗面・目・耳・爪の手入れ (6)清潔の意義	<ul style="list-style-type: none"> ・陰部浴はモデル人形で実施。適切な湯温と直接人に触れることを意識させて、理解させる。 ・ベッドで寝たまま行う方法と、クーパーの作り方を理解させる。 ・この実習から男女別に行う。やけどに注意。方法を理解させる。 ・男女別で実施。機械浴と家庭浴槽での援助を理解させる。 ・自分で行っている手入れを、人に委ねることを意識させる。 ・実習体験から、清潔の意識が生活とどう関わるか理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察(取組状況) ・学習ノート ・実技テスト ・実技レポート ・2学期中間考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的知識が身に付いている ・正しく内容を理解できる ・援助法の正確な技術を身に付け、利用者の状況に応じた取り扱いができる ・スムーズに実習ができる ・清潔の意義を意識しながら、実習ができる ・正しく内容をまとめる
12	7, 食事の援助 (1)食事の意義 (2)食事介助 (3)口腔清潔の援助	<ul style="list-style-type: none"> ・生きる上で欠かせない「食べる」「飲む」意味を理解させる。 ・環境と姿勢、自助具を活用すること、誤嚥について理解させる。 ・口腔清潔の方法を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察(取組状況) ・学習ノート ・実技レポート ・2学期期末考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しく内容を理解できる ・正確な技術を身に付け、安全を意識しながら取り組んでいる
1	8, 排泄の援助 (1)排泄の意義 (2)尿器・便器の利用 (3)おむつ交換 (4)ポータブルトイレの利用	<ul style="list-style-type: none"> ・生きる上で欠かせないこと、排泄の基本的仕組みを理解させる。 ・機器の紹介、使い方と利用者への配慮を理解させる。 ・布おむつ・紙おむつの交換方法と利点・欠点を考えさせる。 ・ポータブルトイレへの移動と援助法を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察(取組状況) ・学習ノート ・実技レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的知識が身に付いている ・援助法の正確な技術を身に付け、利用者の状況に応じた取り扱いができる ・機器の活用方法を理解している
3	9, 福祉用具の活用 (1)福祉用具とは (2)福祉用具の選び方	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具にどのようなものがあるかまとめさせる。 ・選ぶときのポイントや情報の得方を確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察(取組状況) ・学年末考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しく内容を理解し、まとめる